

## 第2回石西礁湖自然再生協議会学術調査ワーキンググループ議事概要

時間：平成24年11月18日（月）14：00－17：10

場所：国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター

参加者：土屋（琉球大）、岡本（東京海洋大）、鹿熊（沖縄県水産改良普及センター）、宮城（衛環研）、灘岡（東京工業大）、照屋、名波、鈴木（西海区水産研究所）、鷺尾（サンゴ礁基金事務局）、藤原（いであ）、石垣市環境課（下地）、石垣港湾事務所（佐藤）、那覇自然環境事務所（伊藤、若松）、沖縄県自然保護課（神谷）、海游（佐川）、沖縄県水産海洋研究センター（秋田）、日本ウミガメ協議会附属黒島研究所（亀田）

事務局：石垣自然保護官事務所（千田、平野、春口）

報告）石西礁湖周辺のサンゴ被度の変遷と環境要因

- ・土屋座長より、「石西礁湖周辺のサンゴ被度の変遷と環境要因」について、解析経過の報告がなされた。

議題1）学術調査WGについて

○WGの進行役（座長）について

- ・学術調査WGの進行役（座長）について、次回WGから照屋センター長（西海区水産研究所亜熱帯研究センター）に引き継がれることでした承された。

○「作業コア部隊」について

- ・作業コア部隊の活動の方向性については、資料1の内容で概ね認められ、次回の協議会にその内容を報告することとした。
- ・資料1に対するその他の意見等は以下のとおり。
  - ・作業コア部隊に参加する人にインセンティブを与えるような工夫（例えば、コア部隊の成果をサンゴ礁学会の英文雑誌に寄稿するなど）があれば、主体的な参加を促すことになる。
  - ・メンバーには、石垣自然保護官事務所やいであにも入ってもらった方が良い。
  - ・検討テーマに応じて、スポット的に参加頂き、関連する情報を提供してもらうような関わり方があっても良いのではないか。

議題2）重点取組海域の整理について

○協議会の多様な主体の取組状況の整理について

- ・資料2では、「協議会の重点取組海域の整理について」と記載をしたが、誤解を生む表現のため、資料のタイトルを「協議会の多様な主体の取組状況の整理について」に修正する。
- ・本資料は、多様な主体の取組状況を整理し、それらの情報を協議会員の間で共有するという趣旨で作成したものである。今後、自然再生に係る活動を行う際の参考にしてほしい。
- ・資料2に関するその他の意見等は以下のとおり。
  - ・「漁業調整等実施区域」は、「水産資源管理実施区域」という表現の方が良い。

- ・「保存区・再生区」という表現は、環境省事業の中で使ってきた言葉であり、協議会の場で使うと、「協議会としての保存区・再生区」といった誤解につながる可能性があるので、「環境省事業が今後取組み・事業を行うにあたっての候補地」と修正する。

### 議題 3) 今後の事業展開について

#### ○環境省事業について

##### ・全体的事項

- ・過去5年間の中間評価を行って、次の5年間の方向性を考えていくべき。中間評価は支援専門委員会でも行ってきたが結論には至っておらず、総括は必要。
- ・今後実施しようとする取組が、(規模的にみて)石西礁湖の自然再生に繋がることを示すことが必要。また、コストも考慮していくべき。
- ・今後は、スケールの話は避けては通れない話だと思う。三万 ha の内、サンゴの部分は数千 ha になると言われている。それらの被度が何%とか計算して、そのサンゴが産卵する効果と今私たちが目指している産卵幼生供給とをスケールで単純に比較したら、全然話にならない。仮に、群集移設で、受精率を飛躍的に高めることができれば、何倍かの重み付けができるのではないか。まだ科学的に全く証明されていないので、この学術ワーキングの重要な部分になるのではないか。

⇒中間評価と並行して、環境省の実施計画の見直しも行っていきたいと考えている。

##### ・航路の群集移設について

- ・群集移設には、受精率を高めるメリットがあるのではないか。
- ・移設はもとの環境にできるだけ近い環境(波あたり、水深、流れは)で実施すべき。

##### ・サンゴ礫固定ネットを用いた着床基盤の創出について

- ・学会などでは、礫場の重要性も指摘されているので、その観点からの反発もあると思う。ある程度のロジックを作っておくことも必要。

##### ・陸上種苗生産について

- ・2005年以降の採苗率の増加は、採苗する場所をいろいろ工夫して変えて、そういう創意工夫の結果、採苗率が上がっているのだと思う。

#### ○オニヒトデ総合対策事業について

- ・沖縄県自然保護課より、オニヒトデ総合対策事業についての情報提供がなされた。

#### ○赤土等流出防止の基本計画について

- ・沖縄県環境保全課より、現在策定準備中の赤土等流出防止対策基本計画についての情報提供がなされた。

### 議題 4) その他について

- ・西海区水産研究所亜熱帯研究センターより、枝状ミドリイシの初期減耗を軽減する着生基盤の開発について、情報提供がなされた。

以上